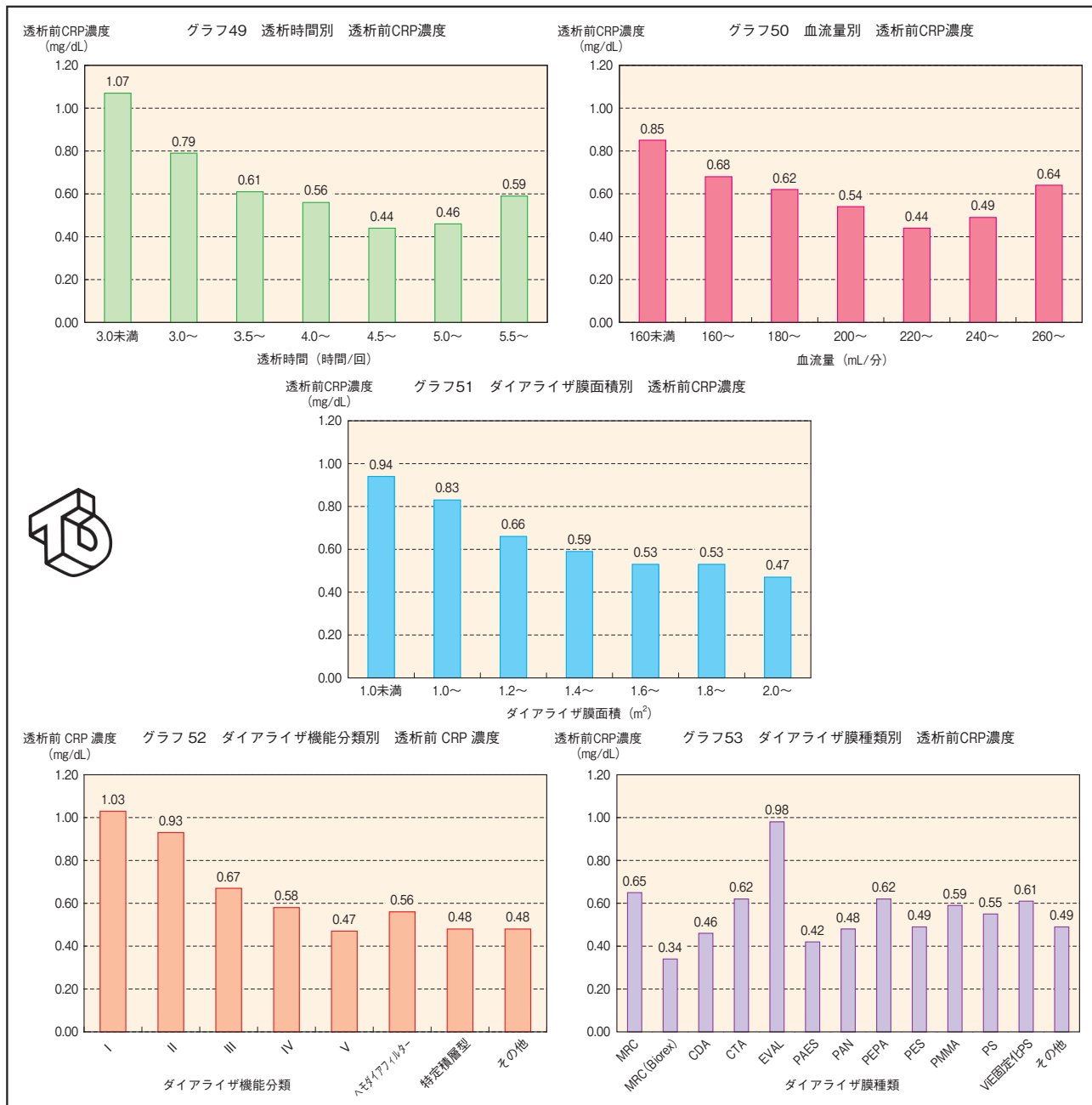


## 4) 血液透析条件と各種データ

### (7) 透析条件と透析前CRP濃度 (図表43)



患者調査による集計

グラフ49 集計対象：122,686人  
 グラフ50 集計対象：122,032人  
 グラフ51 集計対象：121,967人  
 グラフ52 集計対象：121,810人  
 グラフ53 集計対象：121,810人

#### 解説

透析時間が5時間未満までは、長い方がCRP濃度が低い傾向がみられた。  
 血流量が240mL/分未満までは、多い方がCRP濃度が低い傾向がみられた。  
 ダイアライザ膜面積が大きい方が、CRP濃度が低い傾向がみられた。  
 ダイアライザ機能分類別では、V型、IV型、特定積層型でCRP濃度が低い傾向がみられた。  
 グラフに示していないが、CRP濃度は標準偏差が大きく、患者数の少ない群ではバラツキの影響を受けやすいので、ダイアライザ選択などの透析条件が、CRP濃度に関与しているかどうかは判断できない。